



子ども達の自己肯定感を高めるためのカリ★マネ

～ O (目標設定) P (計画) D (実行) C (評価) A (目標達成の確認) サイクルの活性化 ～

学校教育目標

- ① よく考え自ら 学習する子
- ② 仲良く助け合う子
- ③ たくましい体と気力のある子



重点目標

- ① 「学び方」を身に付け、自分で計画を立てて学習できる子
- ② 協力して学習活動や自治活動ができる子
- ③ 何事も最後までやりとおそうと頑張る子

豊かな人間性

～仲良く助け合う集団作り～

健康・体力

～ 学習の基盤となる資質・能力の育成～

行動目標「進んであいさつをしよう！」

- 「道徳科」を要とした豊かな心の涵養
- 支持的な風土をつくる学校(ガイダンスとカウンセリング)



行動目標：時間を守り、場所を清める

- 時間や期限を守る
- 身の回りの整理整頓



資質・能力の育成

何ができるようになるか
○学校教育の基本

何が身に付いたか
○学習評価を通じた学習指導の改善

- ◇「学び方」を身に付け、自主的に学習する力
- ◇何事も最後までやり通す心身のたくましさ
- ◇自他の良さや違いを認め、互いに協力し高め合う力
- ◇地域の自然や文化・歴史に親しみ、郷土を大事にする心



- ◆「学び方」を身に付け、自主的に学習しようとしている。
- ◆何事も最後までやり通そうとしている。
- ◆自他の良さや違いを認め、互いに協力し高めようとしている。
- ◆地域の自然や文化・歴史に親しみ、郷土を大事にしている。

子供の実態

- ・あいさつを返せるが、進んであいさつするまでに至っていない。
- ・与えられた課題に対して、素直にがんばろうとするが、自ら考え行動することが難しい。
- ・自分には良いところがあると感じている子が少ない。

子どもの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子どもへの指導

- 一人一人の発達的な課題(ニーズ)の把握
- 個に応じたきめ細やかな支援
- 「チーム吉原」(全職員)での組織的対応

めざす子どもの姿

- ◇夢や希望の実現に向けて意欲的に学習する子
- ◇何事も最後までやり通す心身のたくましい子
- ◇自他の良さや違いを認め、互いに協力し高め合う子
- ◇地域の自然や文化・歴史に親しみ、郷土を大事にする心子

何を学ぶか
○教育課程の編成

- ①基礎学力(漢字・計算・教科用語・辞書引き)を身に付ける。
- ②「学び方」を身に付ける。
- ③「話し合い」の仕方を身に付ける。
- ④家庭学習の習慣化を図る。



どのように学ぶか
○教育課程の実態

- ①「石垣市スタンダード」での授業実践
- ②「ガイド学習」の導入
- ③「学習の手引き」の作成・活用
- ④学級懇談会や各種お便りでの家庭への啓蒙・情報提供



実施するために何が必要か
○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ☆児童理解を基盤とし、生徒指導の3機能を生かした授業づくりの推進
- ☆小中連携(富野小中・川平小中・崎枝小中)
- ☆子ども支援のための外部機関等との情報共有・協働

☆地域素材や地域の諸団体との情報共有・協働

安心・安全を守る

- △リスクマネジメントの徹底
- △「自分の命は自分で守る」指導



開かれた学校づくり

- 🏠 地域の人材、教材を生かした学校づくり
- 🏠 学校HP、学校メーリングサービス、各種便り(学校だより、学級通信、保健、図書館、教育相談等)による積極的な情報発信